

## 「2024年度ベトナム国家大学ハノイ校サマースクール派遣参加報告書」

京都大学工学部4年 秋山 望羽

今回、ベトナム国家大学ハノイ校のサマースクールに参加し、2週間にわたる素晴らしい経験をさせていただきました。平日は現地の大学で授業を受け、週末はベトナムの観光を楽しみました。授業は、日本人参加者だけで受けるものと、現地の学生と一緒に受けるものがあり、両国の学生と深く交流することができました。

このプログラムを通じて、何よりも印象的だったのは、ベトナム人の温かさでした。授業中だけでなく、ランチや放課後、さらには週末の観光にも現地の学生と一緒に付き添ってくれたおかげで、ベトナムという国の文化や習慣を深く理解することができました。それ以上に、彼らの人柄から学べることが多く、周りの目や利害関係を気にせず誰とでも親しく接する姿勢に感銘を受けました。距離感の近さや活気に満ちた環境は、日本の大学にももっとあればいいのに、と感じるほどでした。

また、両国の学生がグループになってテーマを設定し、ベトナムと日本を比較・考察する「共同発表」の時間も非常に有意義でした。特に、将来観に関するアンケート結果には驚かされました。日本の学生が将来に対して悲観的な見方を持つ一方で、ベトナムの学生は発展途上国の強さを背景に、非常に前向きで楽観的でした。この違いから、成長への希望やエネルギーが国の発展に大きく影響していることを強く感じました。

今回のプログラムでは、ベトナム人だけでなく、日本人参加者からも多くのことを学びました。2週間の共同生活を通じて、協調性や主体性を高めることができました。普段の一人暮らしや短期旅行では経験できない、人と長期間にわたって共に生活する難しさと楽しさを体感できたことに感謝しています。参加者の皆さんは本当に素晴らしい人たちばかりで、このプログラムを有意義にさせていただいたことに心から感謝しています。

今後についてですが、私は大学院でダブルディグリーに挑戦しようと考えています。今回のプログラムもその第一歩として参加しましたが、発展途上国のエネルギーや明るさに強く惹かれ、ダブルディグリーも発展途上国で行いたいと決意しました。2週間の刺激的な日々が今も恋しく、また初めての人たちと海外で生活した楽しさが忘れられません。来年の春には、スペインで同様のプログラムに参加したいと考えています。

最後になりましたが、今回のプログラムを支えてくださった関係者の皆様、そして家族には心から感謝申し上げます。皆様のおかげで、本当に楽しく充実した時間を過ごすことができました。ありがとうございました！